

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：遺家族等援護費

## 事業名 中国残留邦人等生活相談事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 管理援護係 電話番号：058-272-1111(内3442)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,723 千円 (前年度予算額： 3,164 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,164	3,164	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,723	2,723	0	0	0	0	0	0	0
決定額	2,723	2,723	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

中国から永住帰国した残留邦人の高齢化が進んでいることを踏まえ、日本語の習得、地域社会への適応、2世・3世の就労支援など、中国残留邦人等やその子孫に対してきめ細やかな支援を行うことにより、中国残留邦人等が日本の地域社会で安心して生活できるよう支援する。

### (2) 事業内容

- ・中国残留邦人等からの相談等に対し、支援・相談員を派遣 (相談員3名)
- ・身元引受人の斡旋
- ・スクーリング事業の斡旋
- ・地域社会における生活支援 (地域生活支援プログラム等)  
日本語教室、交流事業への参加交通費、教材費の支援
- ・支援・相談員研修会の開催
- ・中国残留邦人等の診療報酬明細書 (レセプト) の点検

(3) 県負担・補助率の考え方

全額国庫負担

(4) 類似事業の有無

他に類似する事業は無し。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,705	支援・相談員、スクーリング講師への謝金
旅費	244	スクーリング講師の費用弁償、業務旅費
需用費	207	消耗品費（コピー代、各種消耗品購入費）
役務費	262	電話料、郵便料
委託料	5	レセプト点検委託費
扶助費	300	支援プログラムに係る残留邦人等の教材費・交通費の負担
合計	2,723	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

他県も同様に実施している。

(2) 後年度の財政負担

事業費の財源は全額国庫であるため、県負担は無い。

(3) 事業主体及びその妥当性

中国残留邦人等が国の責任のもとで生じた歴史的経緯を踏まえ、それらの方々に対する支援は国が行うものであるが、地域社会への定着には自治体が関与しなければ難しい場合もあるため、事業は（国から委託・補助を受けて）県が実施する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 永住帰国した中国残留邦人等の方々の、地域社会における安定した生活基盤の確立。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

### ○指標を設定することができない場合の理由

永住帰国した中国残留邦人等の生活を支援するものであり、指標は設定できない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	スクーリング事業や交流事業など、必要な事業を実施し、永住帰国した中国残留邦人等の生活を支援した。 スクーリング事業 受講者 6名 派遣回数89回 交流事業 受講者10名 参加回数 7回 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 5 年度	スクーリング事業や交流事業など、必要な事業を実施し、永住帰国した中国残留邦人等の生活を支援した。 スクーリング事業 受講者 7名 派遣回数90回 交流事業 受講者10名 参加回数 7回 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 6 年度	スクーリング事業や交流事業など、必要な事業を実施し、永住帰国した中国残留邦人等の生活を支援した。 スクーリング事業 受講者 6名 派遣回数40回 交流事業 受講者 8名 参加回数 7回 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	中国残留邦人が国の責任のもとで生じた歴史的経緯を踏まえ、生活の安定と地域社会への定着を支援することは、人道的見地からも極めて重要。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	中国残留邦人やその家族の求めに応じ、日本語のスクーリングや支援・相談員による相談・通訳対応、交流会参加経費の負担などの支援を実施。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	個々の中国残留邦人等のニーズに応じた支援を実施。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後、中国残留邦人のさらなる高齢化や介護ニーズの増大が見込まれることから、支援の継続性を確保するとともに、地域における見守り体制の強化、関係機関連携の一層の推進が必要。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後、中国残留邦人のさらなる高齢化や介護ニーズの増大が見込まれることから、支援を継続していく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】
--	-------